

おはようございます。今日から後期です。後期のスタートにふさわしい話はないかと考え、決めました。「サルの話」をします。

ある有名な学者さんが、学生相手にこんなやりとりをしたそうです。

(中山) え〜っ、人間の祖先はサルである。サルが木から降り、地上で、二本足で生活を始めたことで、人間へと進化していったのじゃ。

(蒼大) お言葉ですが先生、サルはどうして木から降りたんですか？その時、サルに何があったんですか？

(中山) いい質問じゃ。それはな、サルが「そうしよう」、つまりは木から降りて生活しようと自分で思ったからなんじゃ。人間でもそうじゃろ。自分で願えば、自分の願いに近い自分になれるもんじゃ。進化や進歩を生むためにまず必要なのは、自分から「そうしよう」「こうなろう」と思うこと、言ってみれば「意志の力」なんじゃろうな。

(蒼大) 「意志の力」かあ…なるほど。それがあってこそ、サルも人間も、進歩とか進化とかができるわけですね。勉強になりました！

まあ、かなり脚色してありますが、過去にこういった問答が行われたのは事実のようです。進歩や進化を得るために、まずは自分でこうしたい、こうなりたいと願う…後期を迎えるにあたり、私たちもまた、肝に銘じたい考え方だと思います。

では、先ほど寸劇に付き合ってくれた後期生徒会長の蒼大さんにインタビューしてみましよう。

Q) 蒼大さん、後期、あなたはどうなりたいと願ひ、どう進歩する予定ですか？

⇒ 挨拶や思いやりなどで仲間との関わりを増やし、自分から一歩踏み出して挑戦することで、充実した学校生活を送りたいです。

Q) では、瑞浪南中はどうなりたいと願ひ、どう進歩すべきだと思いますか？

⇒ たくさん関わり仲間とともに創り上げる Next One な南中にしたいです。

ありがとうございました。蒼大さんに盛大なる拍手を！

さて、皆さんはどんな自分になりたいと願ひますか？ まずはその願ひをはっきりとさせてみましょう。個人としても学校としても、Next One の精神で、進化や進歩をどん欲に求めたいもの。後期も引き続き、頑張っていきましょう！ 以上で話を終わります。